

経済史

1. 進学資格試験の目的

博士学位をめざすにたる広い意味での必要な学力を備えているかどうかをチェックする。これを通して博士課程進学をめざす修士院生に研究者としての基礎的能力の習得を動機づける。

2. 出題範囲

経済史・地域経済の基礎知識と方法（大学院修士修了に相当するもの）に関するもの。そのための基礎的文献をリーディング・リストとして事前に提示する。

3. 合格の目安

- ①経済史・地域経済の基礎的知識の理解力
- ②経済史・地域経済としての論理展開の能力
- ③大学院修士課程修了相当の学力水準

【リーディング・リスト】(*印...特に重要なもの)

- *アブナー・グライフ（岡崎哲二監訳）『比較歴史制度分析』NTT出版（2006）
- アレクサンダー・ガーシェンクロン（絵所秀紀、他訳）『後発工業国の経済史』ミネルヴァ書房（2005）
- *青木昌彦『比較制度分析に向けて』NTT出版（2003）
- ダグラス・C・ノース（竹下公視訳）『制度・制度変化・成長』晃洋書房（1994）
- ダグラス・C・ノース（大野一訳）『経済史の構造と変化』日本経済新聞社（2013）
- *中林真幸・石黒真吾編『比較制度分析・入門』有斐閣（2010）
- ロバート・アレン『なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか』NTT出版（2012）
- *ロバート・アレン『世界史のなかの産業革命—資源・人的資本・グローバル経済—』名古屋大学出版会（2018）
- I. ウォーラスティン『近代世界システムⅠ—農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立—』名古屋大学出版会（2013）
- I. ウォーラスティン『近代世界システムⅡ—重商主義と「ヨーロッパ世界経済」の凝集 1600-1750—』名古屋大学出版会（2013）
- I. ウォーラスティン『近代世界システムⅢ—「資本主義的世界経済」の再拡大 1730s-1840s—』名古屋大学出版会（2013）
- I. ウォーラスティン『近代世界システムⅣ—中道自由主義の勝利 1789-1914—』名古屋大学出版会（2013）

- 大島真理夫編 『土地希少化と勤勉革命の比較史：経済史上の近世』ミネルヴァ書房 (2009)
- *斎藤修 『比較経済発展論：歴史的アプローチ』岩波書店 (2008)
- ダグラス・C・ノース、R.P. トーマス 『西欧世界の勃興—新しい経済史の試み』ミネルヴァ書房 (1994)
- F. ブローデル『物質文明・経済・資本主義 II 交換のはたらき 1・2』みすず書房 (1986)
- F. ブローデル『物質文明・経済・資本主義 III 世界時間 1・2』みすず書房 (1996/99)
- *K. ポメランツ 『大分岐—中国、ヨーロッパ、そして近代世界経済の形成—』名古屋大学出版会 (2015)